

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 1

福音書において (1)

ダビデの子、アブラハムの子、インマヌエル、父なる神の愛する御子

聖書：マタイ 1:1, 23. 3:17. 17:5

I. マタイによる福音書は、キリストがダビデの子であるという事実を強調しています

—— 1:1. 9:27. 15:22. 20:30-31. 21:9 :

- A. ダビデの子ソロモンは、キリストの予表であり、彼は王国を受け継ぎ(サムエル下 7:12 後半, 13 後半. エレミヤ 23:5. ルカ 1:32-33)、知恵を持って知恵の言葉を語り (マタイ 12:42)、神の宮を建造します (サムエル下 7:13 前半)。
- B. ダビデの子として、王であるキリストは、わたしたちを天の王国の中へともたらしめます。こうして、ダビデの子という称号は王国を表徴します——マタイ 5:3。
- C. キリストがダビデの子であることはまた、わたしたちが神聖な権威にあずかるためでもあります—— 16:19. 18:17-18. 28:18-19。
- D. 神がダビデと結んだ契約は、王国に関してです——サムエル下 7:8-16 :
 - 1. いったん神が彼の権威に満ちた王国を持つなら、彼の行政の中で、何であれ彼の心にあることを完成し、彼の選びの民に約束された祝福とすることができます。
 - 2. ダビデの種としてのキリストは、神の確かなあわれみとしての復活した王であり、神ご自身をキリストのすべての信者の中へと分与して、彼らが神の行政のために彼の王権にあずかるようにするためです—— 12-13 節. 使徒 13:32-35. イザヤ 55:3-4. ローマ 5:17. 啓 20:4, 6。

II. アブラハムの子イサクはキリストの予表であり (マタイ 1:1)、彼は約束された方であって、すべての諸国民に約束をもたらし (創 22:18. ガラテヤ 3:16, 14)、神にささげられて死に至り、そして復活させられ (創 22:1-12. ヘブル 11:17, 19)、花嫁を受け入れます (創 24:67. ヨハネ 3:29. 啓 19:7) :

- A. 神がアブラハムと結んだ契約は、神が来て、彼の選ばれた民の祝福となることですから——創 22:17-18 :
 - 1. この契約の結果として、手順を経た三一の神は究極的に完成された霊として、わたしたちの祝福となりました——ガラテヤ 3:14。
 - 2. アブラハムの種としてのキリストは、命を与える霊と成って、ご自身を彼の信者たちの中へと分け与え、地のすべての諸国民の祝福となりました——創 22:18. ガラテヤ 3:16, 14. I コリント 15:45 後半。
- B. わたしたちはキリストを、まずダビデの子として、次にアブラハムの子として受け入れなければなりません——マタイ 1:1 :
 - 1. 神は彼の選びの民の祝福となるために、彼の権威に満ちた王国、領域を必要とします——コロサイ 1:13。
 - 2. ダビデの子としてのキリストを受け入れることは、彼の王の地位を承認すること、わたしたちが彼の王権と主権の下にいるべきであることを認識することです。
 - 3. わたしたちの王としてのキリストを受け入れ、彼の支配の下で生きることによって、わたしたちは手順を経た神を、わたしたちの祝福として享受します。わたし

たちは主の支配の下にいればいるほど、ますます三一の神をわたしたちの祝福として享受します——ガラテヤ 3:14。

Ⅲ. わたしたちはインマヌエルとしてのキリストを経験し享受します——マタイ 1:23.

イザヤ 7:14 :

- A. イエス、肉体と成った神は、彼の人性においてインマヌエル、神われらと共にいます。ですから、わたしたちは主イエスを呼び求めるとき、神がわたしたちと共におられるという感覚を持ちます——ローマ 10:12-13. マタイ 28:20。
- B. キリストは、完全な人と成った神全体です。ですから、彼は神全体であり、完全な人でもあり、真の神性と真実な人性を所有しています——ヨハネ 1:1, 14. ローマ 8:3. 1:3-4. I テモテ 2:5. 3:16。
- C. インマヌエル、神われらと共にいますとして、主イエスは彼の神性の中の能力と彼の人性の中の能力を持ち、あらゆる面でわたしたちの必要に応じます——ピリピ 4:19 :
 - 1. わたしたちは神聖な能力における彼を必要とします。それはわたしたちが、彼であるように神聖になるためです。またわたしたちは人性の能力における彼を必要とします。それは、彼が最高水準の道徳の中にあるように、わたしたちが人となるためです——マタイ 5:48. ルカ 6:35。
 - 2. 彼によって、彼と共に、彼の中で、わたしたちは彼であるように、神・人、神聖な人になることができます。彼が神聖であって人性になったのは、わたしたちが人性であって神聖になるためです——ヨハネ 1:12-14. ローマ 8:3. 1:3-4。
 - 3. このようにして彼はすべてを含む方として、最も卓越した方法でわたしたちの必要に適切に、十分に応じます——ピリピ 4:19。
- D. 実行上のインマヌエル、三一の神の臨在は、実際の霊です。彼はわたしたちのすべての日々、わたしたちの霊の中で、またわたしたちの集まりの中で、わたしたちと共にいます——ヨハネ 1:14. 14:16-20. I コリント 15:45 後半. マタイ 28:20. II テモテ 4:22. マタイ 18:20。

Ⅳ. わたしたちの経験と享受のために、キリストはまた父なる神の愛する御子でもありません——マタイ 3:17. 17:5 :

- A. 御父の愛する御子として、キリストは三一の神の具体化また表現です——コロサイ 2:9. ヨハネ 1:1, 14. 14:9-10 :
 - 1. 子なるキリストは彼の人の生活と働きにおいて、ご自身を表現したのではなく、御父を表現しました—— 3:34. 5:43. 7:16-17. 10:30. 12:47-50。
 - 2. 御子を持つことは、御父とその霊の両方を持つことです。なぜなら、御子は三一の神の具体化また表現であって、その霊として実際化され、わたしたちの経験と享受となるからです—— 14:9-10, 16-17。
- B. 御父の愛する御子として、キリストは神の具体化また表現であり、それはわたしたちが神たる方の豊満にあずかって、神の表現となるためです—— 1:16. エペソ 3:19 :
 - 1. わたしたちは御子の中で、神たる方の豊満にあずかります——ヨハネ 1:16。
 - 2. わたしたちは神たる方の豊満にあずかるとき、三一の神の豊満、すなわち三一の神の表現となります。わたしたちは三一の神の団体の豊満、団体の表現です——エペソ 3:19。